

グロ
探
通
信

07 号


 インスタ
やってます
Follow us!

「冒険者」小原海月の挑戦①

海月は世界を取りに行く！？ 彼女の挑戦を見逃すな！



留学生エミーさん(右)と海月さん

皆さん、G探にとんでもない経歴を持つ生徒がいることをご存知でしょうか？ 生徒の名は、小原海月さん。3-3Hに在籍する女子生徒です。普段は新聞部とバレーボール部で活躍し、クラス内でも明るい笑顔を声で周りを元気にしてくれる海月さんですが、さて彼女はどんな快挙を成し遂げたのでしょうか。

今号からは、海月さんの挑戦の数々について、本人へのインタビューをメインにレポートしてみたいと思います。

大きいもののみに絞りますが、まずは海月さんのこれまでの快挙の数々をご紹介します。

① 昨年度(2年次)の快挙

・夏ごろ、新聞部として出場した高知県総合文化祭において最優秀賞を獲得。「第50回全国高等学校総合文化祭 あきた総文2026 新聞部門」への出場が決定！

・夏からG探の探究活動で取り組んでいた探究「持久走が面白い！」を、2月の最終発表会においてステージで発表。会場を巻き込んだプレゼン力が高知新聞社の目に留まり、新聞記事に。それを見たテレビ局からも取材の申込が！

・個人で挑戦した「第24回高校生聞き書き甲子園」で書類審査を突破。主に夏休みの間、愛媛県の名人のもとに通って作った「聞き書き」の作品が、冬に「審査員特別賞」を受賞！ 春には東京での全国表彰式にも参加！

② 今年度(3年次)の快挙

・文部科学省の制度である「トビタテ！ 留学 JAPAN」を活用して、高知県教委が昨年度から始めた「こうち未来創造グローバル人材育成事業」にて、探究型海外留学生として合格！ 給付型奨学金を受給した1カ月のフランス留学が決定！

並べるだけでも息が切れそうなくらい、充実した受賞歴です。どれをとっても素晴らしい結果ですが、今回のG探通信では「聞き書き甲子園」と「トビタテ」に絞ってお話を伺いました。(インタビュー日：6月上旬)

「聞き書き甲子園」(以下「聞き書き」)に挑戦しようと思ったきっかけは何？

海月さん(以下「海」)：きっかけは、学校に貼ってあったポスターを見たことです。無料で東京や取材地域に行ける?! お得じゃん! って。人と話すのは元々好きだし、特に年配の方と話すところ人ほんとにすごいと思うことも多いし。人の人生を聞くと、自分までいい子になれる気がして。「聞き書き」では30年以上その道で暮らしている「名人」と呼ばれる方の話を聞き取るんですけど、そのこと自体にも興味がわきました。あと、**全国の高校生と関わる**、めったにない機会ですし。

本紙のインタビューに、笑顔で応じてくれる海月さん



確かに、そう言われるとすごく貴重な機会だという気がしてきました! では「聞き書き」の大きな流れを教えてくださいませんか？

海：まずは、応募書類を書きます。自己PRとかですね。で、そこで書類審査に合格すると、東京で研修です。私は8月に、3泊4日で行きました。この研修内で、自分がどの名人のところに話を聞きに行くのかも説明されますし、他の県から選ばれた高校生とも知り合います。月に1回、オンラインでの定例会もあります。そして、秋ごろをメインとして名人のもとに通ってお話を聞き、まとめた文書を事務局に提出します。

冬頃には結果の最終発表があります。私は「審査員特別賞」をいただいて、2月に表彰式と報告式に出席しました。

普段高知では電車にも乗ったことがないので、8月の研修前は飛行機と電車に乗るのが不安で不安で。YouTubeで電車の乗り換え動画をめっちゃ見ました。飛行機は事務局が予約して送ってくれたチケットで乗るだけでしたけど、電車は怖かったですね。

でも今は慣れたので、平気でスイスイ乗れます。私も成長しました……(遠い目)。

紙面が尽きた!

次号に続きます!